

【全体テーマ】「開業心理臨床における対話 — 一人ひとりの持ち味を生かす —」

公認心理師が誕生し、心理臨床の世界には大きな変化が起こり始めています。このような変動の時にはなおのこと、心理臨床家は目先の動きにとらわれることなく、自己の原点に立ち返り、足下を確かめつつ未来への指針を得ていくことが必要でしょう。心理療法はどのような理論に基づくものであれ、クライアントとセラピストとの対話を基盤として成り立つものです。理論や実践法の知識は尊重されるべきですが、「学派よりも人間だ」とも言われるように、様々な局面でセラピストの個性や持ち味が生きてきます。それはいま目の前にいるクライアントの言葉、話を傾聴し、地道に応答していくことによってもたらされるものでしょう。その上でなお、予想外な、双方が思ってもいなかったような展開が生まれることがあります。

今年度のセミナーは、標記をテーマとして、開業か非開業かを問わず、私たち臨床家が、どのような「私」であり対話者であるのかを、振り返る一日としたいと思います。

現在開業されている先生方や、将来開業を考えている先生方はもちろん、心理臨床に真摯に向き合い、考えたいと思う臨床家や大学院生のみなさんと、本質的、実践的、理論的な討論を通して、心理臨床を考える機会を持たせたいと考えております。学派を超えた多くの方々には是非参加していただきたいと思っています。

日時 2019年2月11日（祝日・月曜日）10時00分～16時15分

会場 AP品川10階A+B部屋（東京都港区高輪3-25-23京急第二ビル Tel03-5798-3109 品川駅～徒歩3分）

<プログラム>

※当協会会員は敬称

略。

9:30 受付開始

10:00 開会の挨拶：会長 宮地幸雄（岐阜カウンセリング研究所）

10:10 午前の部；基調講演『臨床における対話と個々の持ち味』

講師：手束邦洋（手束心理言語臨床研究所・目白台心理相談室）

司会：浅井真奈美（日本福祉大学・小泉心理相談室）

指定討論：平井正三（御池心理療法センター）

『「自分の考えを持つこと」と、他者との対話』

12:00 昼休み

13:00 午後の部「臨床素材を通じて『開業心理臨床における対話 — 一人ひとりの持ち味を生かす —』について考える」

臨床報告① 報告者：吉岡彩子先生（御池心理療法センター）

『被虐待経験を持つクライアントとの心理療法——対話の困難さをめぐって』

て』

司会：廣藤奈津子（豊川心理相談室・小泉心理相談室）

討論者：栗原和彦（代々木心理相談室）

14:10 休憩

14:20 臨床報告② 報告者：小澤和輝先生（こころのドア船橋）

『20代女性との心理療法過程を振り返って：

わがままであることと正直であることをめぐって』

て』

司会：重宗祥子先生（さちクリニック・代々木心理相談室）

討論者：小泉規実男（小泉心理相談室）

15:30 休憩

15:40 全体討論 全体を振り返って：亀井敏彦（はこ心理教育研究所）

司会：早川すみ江（日本福祉大学・小泉心理相談室）

16:30 閉会の挨拶：宮地幸雄（岐阜カウンセリング研究所）

参加資格・参加費：臨床に携わっている専門家(9,000円)、臨床系大学院生(6,000円)。

申込方法；参加を希望される方は、住所、氏名、所属、職種、臨床心理士資格の有無、パソコン・メールアドレス、電話番号を明記の上、事務局までパソコン・メールにてお申し込み下さい。仮受諾返信と共に参加費の振込先をお知らせします。定員（90名）に達し次第、締め切らせていただきます。日本臨床心理士認定協会への研修申請を予定しています。

Email : koizumi0@amber.plala.or.jp

※当協会へのご入会を検討されている方は、事務局までメールにてお問合わせ下さい。